

## 体験の夏

副校長 田中豊一

誰もが胸の中に、ありありと浮かんでくる懐かしい夏休みの光景をもっていることでしょう。しかし、東北地方では、未だに悲しい夏や苦しい夏を過ごす子供がたくさんいます。私たちは、震災の体験を風化させないように、できる限りの努力を続けていくことが大切だと思います。

さて、本校でも明日から、いよいよ夏季休業に入ります。自分たちの子供の時代を思い出すと、いかにこの夏休みの期間に学んだことが多いかに気が付きます。なぜなら、学期中は先生と言えば学校の先生が中心ですが、夏休み中は、あらゆるものが子供の先生になります。様々な生活体験や自然体験、社会体験は、本当に子供を大きく成長させます。

しかし、子供が体験から学ぶ機会はますます減少しています。以前は、様々な体験の機会を日常的に得ることができましたが、今は、意図的、計画的に体験の機会を提供することが必要となってきました。子供に「豊かな心」を育む貴重な体験の機会をこの夏休みにぜひ設けていただきたいものです。

今、子供を取り巻く社会は、少子高齢化社会の進行、家族・地域の変化、高度情報化やグローバル化の進展、地球環境問題の深刻化など、大きな問題を抱えています。今の子供たちは、これら直面する諸課題に立ち向かい、自ら考え解決し、乗り越えていく力を身に付ける必要があります。そのためには多くの力が必要となりますが、豊かな体験から学ぶ生きて働く知識や知恵、多少の困難には負けない逞しい心と体、道徳性については欠くことができません。これらこそ、夏休み中に、子供たちに学んでほしい力です。

文科省が行った調査があります。平成10年と平成17年ではこんなに違っています。今年度の内容は本校の6年生のものです。御覧になってどんな御感想をもたれるでしょうか。親子で話し合い、この夏休みを貴重な体験をする機会にしていいただければと思います。そして一回り大きくなった姿で、元気に9月に顔を合わせたいと思います。

		何度も ある	少しある	ほとんど ない
道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと	H10	16.9	49.9	33.2
	H17	17.1	48.9	33.9
	H25	0	48.0	52.0
赤ちゃんのおむつを替えたり、ミルクをあげたりしたこと	H10	9.0	13.0	77.5
	H17	9.4	13.1	77.5
	H25	12.0	4.0	84.0
チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと	H10	52.0	29.2	18.8
	H17	35.1	31.6	33.3
	H25	37.0	38.0	25.0
太陽が昇るところや沈むところを見たこと	H10	24.0	43.1	32.8
	H17	19.2	39.3	41.4
	H25	44.0	40.0	16.0
夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たこと	H10	32.0	44.4	23.7
	H17	25.4	40.9	33.7
	H25	50.0	42.0	8.0

		よくある	時々ある	ほとんど ない	まったく ない
靴をそろえたり、磨いたりすること	H10	3.9	23.3	36.5	36.3
	H17	8.4	30.2	36.1	25.3
	H25	36.0	48.0	16.0	0
家の中のお掃除や整頓を手伝うこと	H10	7.2	44.4	36.5	11.9
	H17	13.9	48.4	29.5	8.2
	H25	28.0	60.0	8.0	4.0
ゴミ袋を出したり、捨てたりすること	H10	9.1	31.9	30.7	28.4
	H17	17.3	38.8	27.3	16.6
	H25	36.0	44.0	16.0	4.0
近所の人にほめてもらったり、叱られたりしたこと	H10	10.5	30.1	34.4	25.0
	H17	12.1	30.7	34.7	22.6
	H25	8.0	36.0	48.0	8.0
バスや電車の中で体の不自由な方やお年寄りに席を譲ること	H10	9.3	40.2	36.1	14.4
	H17	12.5	40.6	33.7	13.2
	H25	32.0	40.0	24.0	4.0